

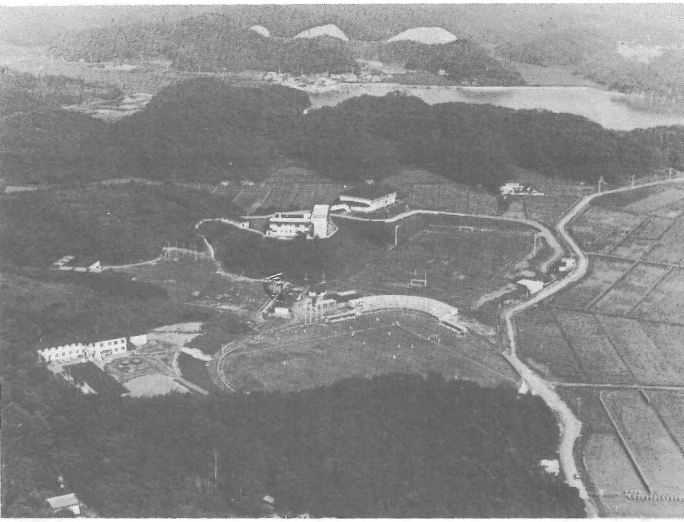
仙台育英学園

同窓会々報

創立八十周年記念誌

の編集にあたって

仙台育英学園 図書館長 堀川 勝太郎



仙台育英学園松島研修センター (全景)

仙台育英学園高等学校は、創立以来、六十年間、その記念誌の刊行が企画されて、目下、編集作業が進められている。...

この中には、建学の精神が、もう、明確な形で打ち出されているのである。...

昭和二十四年三月、学制改革後の第一高等学校卒業生として卒業した小生は、中学生時代より抱いていた夢、それは音楽家になる事であった。...

さて、昭和二十四年三月、断て日大芸術学部音楽学科へ入学願書の提出、受験の無断であるが、当時、引込めが、どこにそんな勇気があったのか、と今にして思えば心肝寒からしめるものがある。...

普通、演奏家になる為には幼形より始め、人間の骨格までに至る演奏技術をマスターしなければならぬと云われているが、何しろ小生の場合、二十才近くになって始めて先生に付いて習い始めたばかり、しかも、この道に足を踏み入れた以上、もう逃げ出す訳には行かない、年令的なハンディを感じた小生は独自に音楽への挑戦を始めた。...

普通、演奏家になる為には幼形より始め、人間の骨格までに至る演奏技術をマスターしなければならぬと云われているが、何しろ小生の場合、二十才近くになって始めて先生に付いて習い始めたばかり、しかも、この道に足を踏み入れた以上、もう逃げ出す訳には行かない、年令的なハンディを感じた小生は独自に音楽への挑戦を始めた。...

「常二道徳ヲ重シ高深ナル人格ヲ修養ス努力ハキ事、一事ニ当リテ勤勉目ツ堅忍ニシテ進取タルハキ事、愛國ノ大義ヲ明カシテ外ニ國威ヲ宣揚スルヲ覺悟フ有キ事、一師長ノ命ハ其事ノ如何ヲ問ハズ直チニ之ニ服従スベキ事」以下略

故加藤利吉先生は、私塾を東四番丁に開設されてから、校地を東七番丁、外記丁通りと求められ、最後に宮城野の現在地を取得されたのである。...

卒業以来三十有年、すっかりご無沙汰の母校も昭和二十年前後に在籍した我々にとっては、うやまい限りのお礼である(同窓会会報を拝読して誠にこの間に逢えませんが、何か一文を、このご依頼を受けました。...

「志あるところに道あり」 昭和二十四年卒 國井義弘 武蔵野音楽大ウエイオリン科卒 情操音楽教室主宰

云つても全く無視され、その年は断念、仕方なく又、税務署員としての日々を過す事と相成った。しかし、音楽の道への思慕は益々燃えるばかり、無断で入学願書の提出、無断で東京、今度は前年合格の実績から武蔵野音楽大ウエイオリン科を受験、昭和二十一年十二月に兄が、知人からウエイオリンを借りて来たのがあったので、自分なりにいじっていた、今度は全国の一流音楽大学、ヒラビクしながらの受験、案の定、不合格(何しろ独学での受験しかし、武蔵野音楽大ウエイオリン科は、現在では、)

普通、演奏家になる為には幼形より始め、人間の骨格までに至る演奏技術をマスターしなければならぬと云われているが、何しろ小生の場合、二十才近くになって始めて先生に付いて習い始めたばかり、しかも、この道に足を踏み入れた以上、もう逃げ出す訳には行かない、年令的なハンディを感じた小生は独自に音楽への挑戦を始めた。...

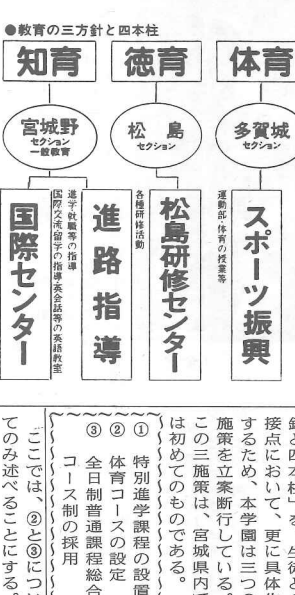
# 新しい世紀を拓く 全人教育と四本柱

## 新生仙台育英高校の出発

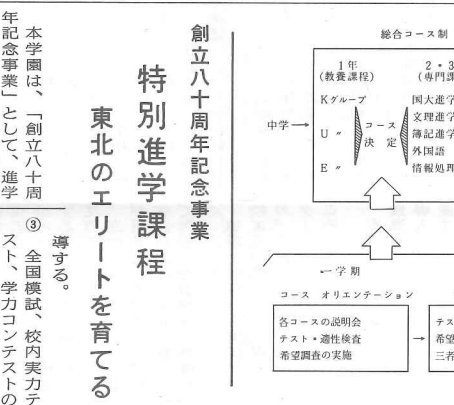
# 学園だより

「人間の基本は至誠にあることを忘るべからず。質実剛健の風を保持されれば国家の衰運を招き、自治進取の風をあらざれば、国家社会の進進に寄与すべからず。」と、高らかにうたわれた。仙台育英学園の創立者、加藤 利吉先生の教育理想即建学の精神は、戦前戦後を通じて、一貫して受け継がれてきています。この度、創立八十周年を迎える本学園は、建学の精神に基づき、装いを新たに、二十一世紀に向け、時代の流れを先取りする飛躍の第一歩を踏み出すことになりました。特別進学課程の設置、体育コースの設定、全日制普通課程総合コースの採用等は、本学園の画期的な教育改革であり、多くの人々から注目されているものであります。この方策決定まで、本学園は、長い年月をかけて研究討議を重ねてきました。その結果、ここに「創立八十周年記念事業」として、実を結ぶに至りました。次に、その概要についてお知らせいたします。

私学教育の基本は、建学の精神にあることは、いうまでもないが、時代と共に歩む私学が、その建学の精神を如何に具現していくかが、重要な課題となってくる。無限の可能性を持つ青少年を教育する本学園も、深くこの点に思いをいたし、新生「仙台育英学園高等学校」の教育指針を、次のように策定したのである。

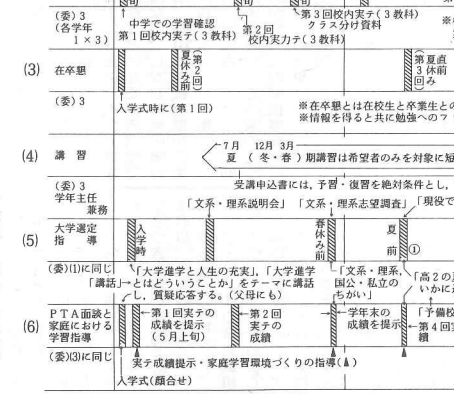


●教育の三方針と四本柱  
策定に当たり、特に次の三点に留意した。  
① 時代の流れに即応するだけでなく、未来を読みとけ、生徒のニーズに応え得る教育体制の組織化。  
② 教育体制に伴う教育方法の探求。  
③ 教育環境の整備・施設設備の充実。  
以下項目ごとに、簡単に解説する。  
「知育」「徳育」「体育」の三位一体を目指す全人教育は、建学の精神そのものである。  
「宮城野セクション」「松島セクション」「多賀城セクション」の三教場は、本学園のすばらしい教場である。その場で学ばれる教育内容は、四本柱に



そのために、本学園では多賀城地区において、総面積約四万坪の総合グラウンドの建設計画を進め、今秋完成の予定である。  
以上述べた「教育の三方針と四本柱」を、生徒との接点において、更に具体化するため、本学園は三つの施策を立案断行している。この三施策は、宮城県内では初めてのものである。  
① 特別進学課程の設置  
② 全日制普通課程総合コースの採用  
③ 体育コース

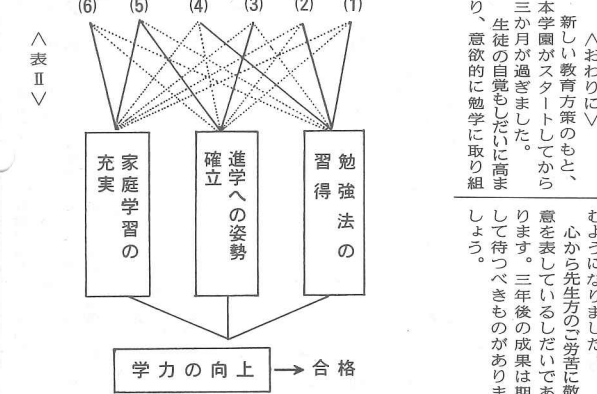
本学園は、「創立八十周年記念事業」として、進学に関する制度上の改革を断行し、「特別進学課程」を設置いたしました。通称、「特進」と呼ばれる本課程は、校舎も別にした全く別個の進学校として考えようと思っております。次の1・5は、その全体像であり、具体的な教育課程は、二年半でマスターし、残りの時間を特別に当てるほか、進学校としての特別な指導をする課程であります。



① 特進の具体的な内容を上げ、進学校のノウハウを徹底分析し、さらに本学園の理念を生かして、教育課程を編成する。  
② 各教科の勉強法、計画の立て方まで指導し、自学自習の積み上げが、トップ・レベルになるよう指導する。  
③ 生徒個々の志向を啓発し、将来にっばな社会人として活躍する目標を立て、進学準備のための勉学に意欲的に取り組む気力を育てる。  
④ 生徒の進路と学習態度に合わせたカリキュラムを編成し、適切な指導を行う。  
⑤ 進学を目指す自覚を高めるため、高1の時から段階的オリエンテーションを十分に先行し、不安なく勉学に打ち込み、かつ、期待通りの成果をあげられるよう方策を講ずる。  
⑥ 自学自習の重要性をあらゆる機会に説き、生徒の自発性を促す。

① 全国模試、校内実力テスト、学力コンテストのデータを通して、全国一流大学合格ラインを割り出し、適切な指導をする。  
② スパルタやツメコミ教育ではなく、将来に大きな夢を持ち、それに向かって着実に歩む競争ムードをつくる。  
③ 本課程は、多数の志願者の中から選ばれた、知力と意欲の両面に富み、優秀な素質をもつ生徒の集団で、学力の差がないために、能率的な学習指導を進めることができる。  
④ 最近、抜群の進学校成績を上げた進学校のノウハウを徹底分析し、さらに本学園の理念を生かして、教育課程を編成する。  
⑤ 各教科の勉強法、計画の立て方まで指導し、自学自習の積み上げが、トップ・レベルになるよう指導する。

① 本課程は、多数の志願者の中から選ばれた、知力と意欲の両面に富み、優秀な素質をもつ生徒の集団で、学力の差がないために、能率的な学習指導を進めることができる。  
② 最近、抜群の進学校成績を上げた進学校のノウハウを徹底分析し、さらに本学園の理念を生かして、教育課程を編成する。  
③ 各教科の勉強法、計画の立て方まで指導し、自学自習の積み上げが、トップ・レベルになるよう指導する。





仙台育英学園同窓会役員

自 昭和58年8月
至 昭和60年7月

Table with columns: 役名 (Position), 卒業年度 (Graduation Year), 氏名 (Name), 現住所 (Current Address). Lists various officers and members of the alumni association.

総会だより
昭和58年8月27日(土)午後五時から、パレス・へいあんを会場として、学校長加藤 昭先生をはじめ多数の先生方をお招きし、第29回・仙台育英学園同窓会を開催いたしました。

第29回仙台育英学園同窓会総会報告
一、開会の辞
二、会長挨拶
本日、ご多忙中の折、同窓会総会に多数の会員の参加をいただき、ありがとうございます。

同窓会総会報告(続き)
三、学校長(名誉会長)挨拶
お久しぶりに皆様にお会いいたします。皆様お忙しの時期ですが、多数の方々にお会いでき嬉しく思います。

事務局長 高任 正人先生
来賓祝辞 加藤先生
一年前に、仙台育英学園同窓会でご挨拶させていただきました。その間、学園において、皆様におかれましても、いろいろなことがあったと思っております。

同窓会が益々発展し、会員の皆様の益々のご健勝を祈いたします。
一、会長 小坂信雄氏
二、副会長 佐藤博迪氏
三、事務局長 渡辺伊太郎氏
四、副事務局長 鈴木文男氏
五、議長 佐藤博迪氏
六、議長 佐藤博迪氏

懇親会
一、乾杯
二、懇談(祝宴)
三、校歌斉唱
四、万才三唱
五、閉会の辞

「新同窓会名簿発行」
事務局長 渡辺 伊太郎
「新同窓会名簿を作ろう。」の声が上がりました。その一覽表に載った会員一人一人の住所を如何にして以来三年の歳月が流れた。そして本年四月末日、新名簿が出来上がった。

「新同窓会名簿発行」(続き)
「はい、育英卒です。」の返事に安心し「いや、育英とは関係ありません。」という返事に失望したりした。

「新同窓会名簿発行」(続き)
立派に出来上がった新名簿を手にした今、様々の苦勞はみな過去の「語り草」になろうとしている。

「新同窓会名簿発行」(続き)
伊東 英生氏 (旧制第一回卒)
六月十五日、急性心不全のため自宅で死去。伊東氏は、昭和四十年から母校に勤務され、十八年に亘る長い間職務を執られました。

「新同窓会名簿発行」(続き)
六月十六日、心不全のため自宅で死去。餅氏は、宮城県庁に勤務され、水産林業部長・農政部の要職を歴任されました。

昭和59年度 同窓会総会 8月25日(土) PM.5:00より 会場 パレス・へいあん 仙台駅前広瀬通り 電話 65-5111 懇親会費 5,000円 (当日持参)

「新同窓会名簿発行」 事務局長 渡辺 伊太郎 一覽表に載った会員一人一人の住所を如何にして以来三年の歳月が流れた。...

快挙/ロス五輪へ 佐々木 信男選手 日本代表に 佐々木信男選手(二八)は、ロサンゼルス・オリンピックハンド・ボール競技大会の日本代表に選ばれた。